

平成24年度 第一回座間市廃棄物減量等推進審議会 議事録

日 時

平成24年9月12日午前10時～11時20分

開催場所

座間市役所 6階 委員会室1

出席者

岩田委員、上原委員、川島委員、小林委員、清水委員、菅委員、曾根委員、室星委員
市：座間市長、環境経済部長

事務局

環境経済部資源対策課 資源対策課長、資源対策係長、資源対策係主事2名

傍聴者

0名

公開可否

公開 一部公開 非公開

議 題

一般廃棄物処理基本計画（素案）について

資 料

資料1 座間市廃棄物減量等推進審議会委員名簿

資料2 平成23年度清掃事業概要（座間市）

資料3 平成22年度神奈川県一般廃棄物処理事業の概要

開 会

- ・市長から委嘱状の交付
- ・市長あいさつ
- ・委員紹介
- ・事務局から、過半数の出席による審議会の成立、審議会の公開・傍聴について説明
- ・事務局の推薦から曾根委員が会長、上原委員が副会長に就任
- ・諮問書を市長から会長へ提出

審議の概要

議題「一般廃棄物処理基本計画（素案）について」

事務局から一般廃棄物処理基本計画(素案)について説明した後、質疑を行った。

概要は次のとおり。

- 【会 長】 本日、諮問をいただいたばかりで、皆様方もはじめてご覧になる訳で、詳しい内容までは目を通すことはできないでしょうが、今の説明の中で、何か、質疑、意見等がありましたらお願いしたいと思います。
- 【委 員】 高層マンションのディスポーザーで、分別しないで流すものがありますが、行政当局はディスポーザーを勧めているのですか。
- 【環境経済部長】 これは公共下水に関係しますが、ディスポーザーを使って台所排水を処理しているマンションは市内に2箇所ほどあると思います。ごみとしては減りますが、下水道としては汚泥が増えます。また、高座清掃施設組合では汚泥の処理はしていません。いずれにしてもディスポーザーは、ごみを減らす効果はありますが、貝殻なども砕いて下水に流すため、下水汚泥が増えるため市では推奨していません。
- 【会 長】 減量化については、当局の方も一生懸命取り組んでいると思います。他にありませんか。
- 【副 会 長】 座間市にはマンションが多く、最近、その中には24時間いつでもごみを出せるということが売りのマンションが多く、可燃物でもびんでも缶でも容器包装プラスチックでも、何でも集積所に出されているのが現状です。ごみを回収する立場からすると、例え晴れた日に出された布類でも、雨の日に回収すると、せつかく資源になるごみが費用をかけて燃やさなければなりません。分別して置いてあっても24時間いつでも出せるということから、置場がないと上に重ねて置かれてしまい、回収する側は大変苦勞をしています。24時間ごみを出す市民側は便利だろうけれど、残すと苦情を言われ、回収する側は大変疑問に思っています。管理人がいるところは整理をしてくれますが、年末年始の場合は集積所の扉が閉まらないくらい多くなってしまいます。そうすると、置き場がなくなるため、容器包装プラスチックなども燃えるごみの日に出してしまう。今、マンションは半分以上が24時間体制になっています。資源物もお金になるものは抜き取られるということもあります。リサイクルする側はなるべく高座清掃施設組合へ運ばないようにしていますが、24時間体制が良いのか悪いのか疑問に思います。
- 【会 長】 24時間ごみが出せるマンションの話が出ましたが、こういった集積所のごみの出し方については、行政の指導ではなく、マンション独自の管理という考え方でいいのですか。
- 【事 務 局】 そうです。集積所が広かったり屋根がある所は問題がないのですが、全てそういうところではないことから起きる問題です。今の話の中で

24時間体制がマンションの売りの一つということであれば、なかなかこちらでお願いできない部分ではありますが、行政側で、住民の排出ルールの啓発ということで、マンションの方に投げかけるという方法も考えられますので、研究させて頂きたいと思います。

- 【会 長】 行政は指導できるのですか。マンションに対して。
- 【事務局】 お願いはできますが、どこまで協力いただけるかということです。
- 【委員】 今のお話を伺っていると二つの問題があつて、マンション業者側は集積所の設置や利用については勝手に決めることができます。そこまではいいのですが、そこから先は市の問題となってきます。実際にごみを出すのは住民側ということで別々の問題になってきますが、管理人が区別をしているから問題ないということですか。
- 【環境経済部長】 生ごみもそういう出し方ですか。
- 【副 会 長】 そうです。
- 【環境経済部長】 生ごみは臭いのでマンションや管理人に対して苦情が来るのではないですか。
- 【副 会 長】 何でも出せますから小さいごみ置き場だと対応できなくなってきました。これから分別の種類が増えると置ききれなくなるマンションが出てきます。置くところがないと結局、大変なことになってしまいます。
- 【環境経済部長】 リサイクルセンター、クリーンセンター、資源物の担当で、マンションのごみの出し方の悪い場所を洗い出し、調整してください。
- 【委 員】 マンションの集積所は朝が早い人から勝手に置いていきます。特殊なものはボックスを作るなどしたらどうでしょうか。
- 【環境経済部長】 マンションにはペットボトル置き場や缶置き場などストックヤードが決まっていますが、出し方の悪い所はきちんと仕分けをしていません。特に、年末年始は回収しない時期が長くなりますので、そういう時期が一番問題です。生ごみだけは決まった収集日に出してもらえれば、そんなに問題にはならないと思いますが。
- 【委 員】 マンションで24時間体制を売りにして、そこまでやるのであれば、行政としっかり連携を取り合つて、行政に迷惑をかけないようなやり方でやってもらいたいと思います。今は、市民、回収業者、市、三位一体でごみを少なくしようとしている時です。私の地域も一軒家ばかりで21世帯と多いのですが、平成3年からごみ清掃の当番表を作り、集積所の管理をしています。みなさんにはすごく協力していただいて、可燃ごみより資源ごみが多くなり、関心が高まったと思います。問題があつた時には当番表の下の方に書いておいて、悪いことよりなるべ

く良いことをお知らせするようにしていますが、臭いがする場合にはごみ袋を二重にしたり、バケツに水を汲んで流してきれいにするなどしています。今のマンションのお話を聞いて、ごみを出してしまえばいいのではなく、ごみと思うから投げやりになる。一時そこに置かせてもらい片付けてもらうのだと考えれば、おろそかにはできないのではとも思っています。

【事務局】 そういうお話については、現計画の中でも教育学習、啓発活動という項目の中で触れています。ご意見については高座清掃施設組合との会議の中で、今回の計画の中に盛り込むよう提案することができます。共同で作るものですので、投げかけていきたいと思えます。

【会長】 マンションの管理者の方をお願いをすることと、ごみを出す市民の意識啓発の問題ですね。ぜひ積極的にお願いをして頂ければと思えます。他にございませんか。特にないようでございますので、これで終了とさせていただきます。

今日は時間もございませんでしたが、委員のみなさまにおいては資料をお持ち帰り頂き、再度目をとおして頂いて、次回の時にはいろいろな意見を頂ければと思えます。それでは進行の方を事務局に返します。

- ・事務局から次回審議会の予定日（10月4日）について説明
- ・環境経済部長のあいさつ

閉 会